

## 第1回 気高地域学校統合に関する関係者会議の概要について

教育総務課校区審議室

- 1 日 時 令和4年11月29日（火） 15時 ～ 16時30分
- 2 会 場 気高町総合支所
- 3 出席者 【委員】19名 欠席1名  
【気高町総合支所】職員5名  
【教育委員会事務局（教育総務課校区審議室）】職員3名
- 4 説 明 (1) 関係者会議の協議内容について  
(2) 新設校の設置位置について

### 5 質疑応答（概要）

#### (1) 関係者会議の目的について（意見）

○要望書の内容が尊重されていないと思う。どうして現浜村小学校の案（案②）が検討課題にできたのか。

⇒（事務局回答）：浜村小学校の位置が案として挙げられていることについて、統合検討委員会でも検討したが、要望としては駅に近いという条件があったので、案①（駅南側）の新規用地と、案②（浜村小学校）と対比していただくため、最後まで残った案②を挙げている。

○地域住民がしっかりと話をし、候補地を絞って出した要望に対して、もう一回元に戻ってどちらかという出し方をされるということであれば疑問が残る。

⇒（事務局回答）：公共施設整備にあたっては原則、新しい用地を取得しないという方針がある。なぜ新しい候補地なのか、その理由付けが必要と考えている。要望書をいただいているが、詳しい理由は書かれていないので、新しい土地でのまちづくりについて具体的に考えていただき、その必要性について提案いただきたい。

○今までの話し合いの上に、理由付けをして、ここが適切な土地であるという肉付けをする会だと思えばいいですね。

⇒（事務局回答）：新しい土地に学校を建てるということであれば、それがまちづくりの観点で、なぜ必要なのかというご意見をいただきたい。

#### (2) 委員からの質問（勝見川放水路計画について）

○気高町史には、昭和30年代の勝見川の浸水のことが載っていた。統合準備委員会では、浸水のことについてはあまりでてこなかったのが、浸水について心配している。

○県の事業の勝見川の放水路計画についてはより詳しくお聞かせいただきたい。

⇒（事務局回答）：資料に県の事業である勝見川放水路計画を載せている。勝見川にバイパスである放水路を設置することによって、格段にそのリスクは軽減されると思われる。

### (3) 今後の関係者会議の進め方について

○各委員が考えたり話し合ったりするため市の方で持っているメリット、デメリット等についてもう少し詳しい資料がいただきたい。

⇒(事務局回答)：ハザードマップ等、統合準備委員会の資料等話し合いのための資料も提供させていただきます。

○保護者からは新しい学校を作る際には、通学方法や校区問題をセットにして議論をしていただかないと判断できないという声を聞いている。保護者の観点も踏まえて、まちづくりを考えていくことも必要だと思う。

○どんな学校にするのか、通学方法はどのようにするのかなど決めないといけないことはまだ、たくさんあるけれども、まだ、位置も決まっていない。前にどんどん進んでいかないといけないと思う。保護者も待っている。

○地域に開かれたモデル的な学校を気高地域に作っていくということを示していただければ話が進んでいくと思う。スピード感をもって魅力ある学校づくりを進めていただきたい。

○まちづくりの観点でも統合準備委員会が示している場所が、最適地だということをまちづくりの観点からも根拠を示し後押ししていけば、その内容に沿って市教委も方針をまとめられると思っている。

## 5 その他

《第2回予定》

日 程：12月13日(火) 14:00～ 場 所：気高町総合支所